

				科目コード*	111
科目名	統合ヘルスケア (Integrated Health Care)			選択区分	必修
単位数	1単位	時間数	30時間	学期	前期
担当教員	今村 朋子、伊藤 美香、井上 明子、野上 みき*、 参川 由加*、谷村 依里*、藤田 玲子*、小川 時江*			区分	助産学実践領域
授業概要	女性の健康支援やマタニティーサイクルの助産ケアにおいて、対象が持つ自然の力を引き出す関わり の意義を概説し、その手段として、代替療法(補完医療)や日常生活における運動や癒し、食生活など様々 な側面から心身を整える取り組みに関する理論や有効性、ケアの実際について教授する。				
授業目標	1 西洋医学と代替療法(補完医療)を統合した、ヘルスケアの考え方について説明できる。 2 女性や母子がセルフケアによって健康レベルを高めるための具体的方法について、自分の体で感じ た「気づき」をもとに助産援助への活用のありかたを考察することができる。				

授業内容

回	項目	内容	担当者
1	統合ヘルスケアと助産師	統合ヘルスケアとは 女性の健康・母子の健康とセルフケア	今村朋子
2	運動によるからだづくり (1)	マタニティーピクス	参川由加
3	運動によるからだづくり (2)	マタニティーヨガ	野上みき
4	代替療法を助産に活用する (1)	東洋医学 理論編	谷村依里
5		東洋医学 実践編	
6			
7			
8	代替療法を助産に活用する (2)	アロマセラピー	藤田玲子
9	食生活を整える	母子の栄養 理論編	小川時江
10			
11			
12			
13		母子の栄養 実践編 (調理実習)	小川時江 伊藤美香
14	親子のきずなづくりを支援する	パワーオブタッチ、ベビーマッサージ	藤田玲子
15	代替療法を助産に活用する (3)	骨盤ケア	井上明子
	統合ヘルスケアの臨床への応用	助産師としての統合ヘルスケアの活用	今村朋子
成績評価方法	各実践レポート(70%)、調理実習 (20%)、まとめレポート(10%)によって評価する。		
教科書	1. 我部山キヨ子・武谷雄二「助産学講座3 母子の健康科学」(医学書院) 2. 日本糖尿病学会「糖尿病食事療法のための食品交換表」(文光堂)		
参考図書等			
備考	※教科書2の「食品交換表」の旧版を持っている学生も、必ず最新版を購入すること。		